



豊田中学校 学校だより

豊田の里

平成30年7月11日
第4号
発行 豊田中学校

第二節「挑戦 その二」

～磐周中学校総合体育大会が開催されました～

6月23日（土）の水泳競技の部を皮切りに、磐周中学校体育大会がスタートしました。壮行会での決意と凜々しい姿をそのままに、3年生を中心にどの競技でも熱戦が繰り広げられました。

野球部	1-4 対磐田東中 延長惜敗	卓球部	団体 5位 個人 杉浦七光3位 県大会へ
サッカー部	決勝トカ外進出 ベスト8	剣道競技	団体 0-5 対磐田東中 負 1-4 対豊岡中 負
女子バレー部	2次リーグ進出 ベスト12	男子バレー部	第3位
男子ソフトテニス部	団体 4位	水泳競技	浦田京佑(男子200m平泳)3位 富樫陽菜(女子100m自由)6位 中村莉空(男子400m自由)2位 本田和香奈(女子100mバタ)1位 浦田京佑(男子100m平泳)3位 富樫陽菜(女子100mバタ)5位 中村莉空(男子200mバタ)2位 本田和香奈(女子200mバタ)1位 男子総合 6位 ※6位入賞分まで記載
女子ソフトテニス部	団体 優勝 個人 酒井永井優ペア優勝 吉田永井絵ペア4位 村松渡部ペア 9位 以上県大会へ		
男子バスケット部	決勝トカ外進出 ベスト8		
女子バスケット部	決勝トカ外進出 ベスト8		

～全校集会校長講話 「誰もが豊田中の代表」～

先日の壮行会では、1・2年生がすばらしい応援をし、3年生の選手がその思いを受け、磐周大会等に臨む決意を堂々と語ってくれました。その決意通り、磐周大会の各競技において、本校代表の選手たちはすばらしい活躍をしてくれています。校長として、大変誇らしく思っています。先ほどの表彰がその一部であり、今週末にもまだ対戦をひかえている競技もたくさんあります。ますますの活躍を祈っています。



君たちの磐周大会と同様に、ロシアで行われているサッカーの世界カップも大いに盛り上がっています。昨日の早朝、日本対ベルギー戦を眠い目をこすりながら見た人もいないのではないでしょうか。惜しくも逆転負けを喫し、4年に1度の日本の挑戦は終わりましたが、日本の快進撃を多くの国のメディアが絶賛

しており、大変嬉しいことです。

実は、代表選手の活躍だけでなく、日本人サポーターも注目されていることを知っているのでしょうか？それは、清掃活動です。

ワールドカップでの日本人サポーターのゴミ拾いは、1998年のフランス大会から始まりました。スタジアムをブルーに染めようと持ち込んだ青いゴミ袋で自然と観客席の清掃が始まり、次第に参加者が増えていきました。

日本人にとって清掃は、「環境とともに自分の心も磨く」といった精神的な意味合いや、「来たときよりも美しく」といった感謝や奉仕の意味合いもあり、日常生活に溶け込んでします。私たちも、地域の清掃や花火の後や町中のゴミ拾い、草刈りなど、当たり前のこととして大人も子供も取り組んでいます。

しかし、世界的に見るとめずらしい活動で、当初は「なぜわざわざゴミを拾うのか」と奇異な目で見られることも多かったようです。しかし、今では、スポーツの場に限らず、日本文化として海外に広がりを見せています。外国から「ノウハウを教えてほしい」という問い合わせも増えていると言います。ロシア大会コロンビア戦の後、ゴミ拾いを始めた日本人サポーターの一人は、コロンビアのサポーターに「袋をください」と声をかけられました。「記念に袋がほしいのかな？」と思いながら袋を渡すと、一緒にゴミ拾いをしてくれ、驚いたそうです。

ワールドカップ、磐周大会では、代表で出場する選手は限られていますが、この清掃活動のように、ある意味、私たち誰もが日本代表、豊田中代表と言えるのではないのでしょうか。ここにいる一人一人が、日本のよさ、豊田中のよさを大切に守り、そのよさが広がっていくような行動を、常に心掛けてほしいと願っています。



～磐周中学校体育大会 スナップショット～

